

第126回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年4月8日（金）16：00～16：16
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

4ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

4月7日現在の療養者の状況であります。

入院者が246人、うち重症者が2人となっています。

療養者数は、合計で4,888人となっています。

次に、6ページ、新規陽性者の状況ですが、

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は210.78人で、先月23日から増加が続いており、過去最多となっています。

次に、8ページ、病床使用率の状況です。

病床使用率は33.1%で、先月29日から継続して30%を超えています。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数ですが、266.64人で、一時的に減少したものの、全体的には増加しており、過去最多となっています。

次に、13ページ、特に感染が拡大している6市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

郡山市及び須賀川市は、300人を超える高い水準を維持しており、会津若松市は、今週は300人を1回超えております。

二本松市は、依然として、200人を超えており、新たに、いわき市が、200人を超えました。

本宮市は、今週は200人を2回超えております。

次に、14ページ、今ほどの6市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

喜多方市及び福島市は、100人を超えております。白河市は、減少傾向にあり、100人を下回りました。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(5.0%)、「人口10万人当たりの療養者数」(266.64人)、
「PCR陽性率」(21.5%)、
「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(210.78人)が、レベル3
「病床の使用率」(33.1%)、「感染経路不明者の割合」(63.8%)が、レベル2
「重症者用の病床使用率」(4.3%)が、レベル1となっています。

説明は、以上です。

(教育長)

新学期を迎えたことから、各県立学校に対し、これまで学校において感染が拡大したと思われる事例を周知するとともに、学校内で感染が拡大する恐れがある場合は、各学校の判断により、感染リスクの高い学習活動や部活動を停止するなど、感染拡大防止対策を徹底するよう、本日通知しております。

また、市町村立学校についても、県立学校の例を参考に対応していただくよう、市町村教育委員会に依頼しております。

(総務部長)

私立学校への対応でございます。

私立学校におきましても、新学期を迎え、子どもたちを感染から守るため、本日、学校設置者等に対しまして、改めて学校におけます感染防止対策の徹底を要請する通知を发出したところであります。

以上です。

(こども未来局長)

感染が再拡大の傾向にあることを踏まえまして、本日、市町村等を通じて各児童関連施設に対し、感染対策の徹底について改めて通知をいたしました。

具体的には、家庭における感染対策として、チェックリスト等を活用した感染対策の再確認と症状がある場合には登園等を控えるようお願いしております。

また、施設における感染対策として、これまでの感染事例等を踏まえ、特に留意すべきポイントを伝えて、対策を徹底するよう依頼しております。

引き続き、市町村等と連携を図りながら、児童関連施設における感染拡大の防止に努めてまいります。

(文化スポーツ局長)

本日の 会議の内容を踏まえまして、改めて、県文化センター、ふくしま海洋科学館及び東日本大震災・原子力災害伝承館に対しまして、感染拡大防止対策の徹底を周知するとともに、県芸術文化団体連合会や県スポーツ協会などの関係機関を通じて、県内の各芸術文化団体や競技団体などに対し感染拡大防止対策の徹底について改めて依頼をいたします。

引き続き、関係団体と連携を図りながら、文化スポーツ活動における感染拡大の防止に努めて参ります。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

17ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

1の接種実績につきましては、4月6日時点で、3回目の接種回数が、883,319回となっております。

資料右側の囲みの部分をご覧ください。想定される4月末累計の対象者、約116万人に対する接種率は76.1%となっております。

次に2の「5歳以上11歳以下の子どもへの接種」については、現在、各市町村において接種または準備が進められております。

県では、福島県新型コロナワクチン子ども相談窓口を開設し、接種対象者及び保護者からのワクチン接種に関する相談に医学的知見を有する看護師が対応しております。また、ホームページなどで小児接種に関する情報の発信を行っております。

引き続き、市町村の課題や進捗状況等を丁寧に聞き取りながら、希望する県民の皆さんの追加接種や小児接種が円滑に進むよう、市町村を支援してまいります。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

福島県は1日の新規陽性者が、今までのワースト1、ワースト2ということで、過去最悪の状況になっていると思っております。

この理由は幾つかあると思います。

一つはまん延防止等重点措置が解除されたということ、あるいはこのウイルスが若年層に浸淫（しんいん※段々と進行していくこと）していること。

また、年度末、新年度、そういった人の動きが増えたこと。

あるいは、B.A.2そういった株の影響もあるのかもしれませんが。

ただ、このオミクロン株の重症度はデルタ株に比べて軽いということはあるんですけども、感染者数がそれ以上に増えれば、重症者や死亡者が増えるということは間違いございません。

先ほど申し上げたような増加の要因、これを一つ一つ対応すべきと考えてございます。

(知事)

【はじめに】

はじめに、県民の皆さんの命と健康を守るため、昼夜を問わず、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆さんに、深く敬意と感謝の意を表します。

また、感染の再拡大防止に向け、様々な御協力を頂いている、県民の皆さん、事業者の皆さんに心から感謝を申し上げます。

【現状認識】

全国においては、1日当たりの新規陽性者数が5万人台となるなど、感染再拡大の様相を見せ始めています。

福島県においても新規陽性者数が、先月23日から連続して前の週の同じ曜日を上回るなど、増加傾向にあり、6日には694人と過去最多を更新、昨日まで3日連続で600人を超える状態が続いています。

また、医療提供体制の負荷を示す「病床使用率」については、先月29日から継続的に30%を超える水準で推移しています。

このまま新規陽性者数の増加傾向が続けば、「病床使用率」や「重症者病床の使用

率」も悪化し、医療提供体制への負荷が増えること懸念されます。

【感染拡大防止重点対策について】

本県では、感染の再拡大防止と早期収束に向け、県全域を対象とした「感染拡大防止重点対策」を今月17日まで延長しています。

現在、感染が拡大している「郡山市、須賀川市、会津若松市、二本松市」の4市の皆さんには、特段の感染対策強化をお願いしており、特に、郡山市と須賀川市においては、人口10万人当たりの一週間の新規陽性者数が300人を超える状況です。また、この4市以外でも、いわき市で200人を超えており、本宮市も今週二度にわたって200人を超える状況となっています。

こうした状況を踏まえ、改めて、濃厚接触者と判明した場合は、御家庭の中でもマスクの着用や部屋を分けるなどの感染対策を徹底し、同居している御家族も数日程度は出勤等を控えるなどの御検討をお願いします。また、学校、幼稚園、保育所などにおいても、引き続き、感染拡大防止に向けた積極的な対応をお願いします。

新年度に入り、新しい職場環境に慣れるため、体調不良でも無理をして出勤しなければと思う方もおられるかもしれません。しかし、発熱やのどの痛みなど、何らかの症状がある場合は外出・出勤を控えてください。

事業者等におかれても、こうした症状が疑われる方々が、休みやすい雰囲気づくりをお願いします。

年度初めの行事や保護者参加の行事、学習活動や部活動など、子どもたちの様々な活動における感染防止対策の徹底をお願いします。

さらに、現在、オミクロン株BA.2系統への急速な置き換わりが進んでいます。感染力がより強いと言われていることから、更なる感染拡大を防ぐためにも、基本的な感染対策の徹底を改めてお願いします。

この時期、歓迎会などで会食をする方も多いと思いますが「会食は4人以内かつ短時間で」、「大声やマスクなしでの会話はしない」などのポイントをしっかりと守ってください。

【会議総括】

福島県では、1日当たりの新規陽性者数が急増し、600人を超える日が連続しています。引き続き、県民の皆さんお一人お一人が御自身や大切な人を守るため、決して気を緩めることなく、「感染拡大防止重点対策」に取り組んでいただくようお願いしま

す。

県としては、「感染再拡大の懸念が強まっている」との警戒感を、県民の皆さんと共有しながら、穏やかな日常生活を一日も早く取り戻し、社会活動・経済活動の活性化を図っていただけるよう取り組んでまいります。

各部局、各地方本部、各保健所においては、感染急拡大への強い危機意識を持って、県民の皆さんの命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。

【最後に】

この場をお借りして先月16日に発生した地震に関してお話をします。

本日、政府において支援パッケージが発表されました。

度重なる自然災害などにより、県民の皆さんの「またか」という落胆の思いと、「心が折れそう」な厳しい状況に対し、中小企業等グループ補助金の特例措置など昨年の地震に係る支援策と同等程度の内容がとりまとめられました。

さらに、高度な技術等を要する伊達橋の復旧工事を国が権限代行により実施するなど、本県の実情に寄り添い、昨年以上に充実した支援策を盛り込んで頂きました。

岸田内閣総理大臣をはじめ関係省庁の皆さんに心から感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応と併せて、地震災害からの早期復旧のため、これら支援策を活用しながら、市町村と緊密に連携し、スピード感を持って全力で取り組んでまいります。